

**【第5分科会】 豊かな人間性
研究課題 豊かな人間性を育むカリキュラム・マネジメント**

1 分科会の趣旨

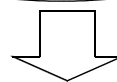
【研究課題の背景・現状】

- ◇道徳教育においては、一人一人の子どもが、自他を尊重し、新たな価値観から自分の生き方を見つめ、よりよい未来社会を共に創ろうとする力を身に付けられるようにすることが重要である。
- ◇人権教育の目的を達成するには、子どもたちが人権に関わる基本的な知識を身に付け、自他を尊重し、共に生きることの価値を自覚することが必要である。また、豊かな人権感覚を育成し、人権擁護を実践しようとする意識や態度を向上させる教育活動が求められている。

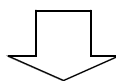
【研究課題解決の方向性】

- ◇道徳教育や人権教育など、豊かな人間性を育む教育活動を意図的・計画的に推進するカリキュラム・マネジメントを明らかにしていく。

過去6大会の成果
と前年度の課題



背景・現状を踏まえて、具体的方策と成果を明らかにする



2 研究の視点

- (1) 豊かな心を育む道徳教育の推進
 - ・子どもたちが道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自分の生き方について考えを深めていくことができるようにする。
 - ・道徳科の目標と内容を体系的・構造的に明確にするとともに、子どもの実態把握に基づいた効果的な指導方法・評価の在り方について共通認識し、指導の改善・充実を図る。
- (2) よりよい社会を創る人権教育の推進
 - ・人権尊重の意義や内容の重要性の理解を基に、人権が尊重される社会づくりに貢献できる資質・能力を身に付けさせるようにする。
 - ・学校と家庭・地域社会、関係機関が連携・協働することで、他の人と共によりよい社会を創ろうとする態度や実践的な行動力を身に付けさせるようにする。

3 「校長の果たすべき役割と指導性を究明する」ための協議の柱

- ① 豊かな心を育む道徳教育をどのように推進するか。
- ② よりよい社会を創る人権教育をどのように推進するか。

第5分科会 「豊かな人間性」豊かな人間性を育むカリキュラム・マネジメント

【視点①】 豊かな心を育む道德教育の推進

「社会に開かれた教育課程の実現と校長の役割
～学校・家庭・地域が連携・協働する道德教育の推進～」

香川県 三木町立田中小学校 校長 小笠原 学

1 趣 旨

昨年度の第70回全連小北海道大会第5分科会「豊かな人間性」には、200名以上の参加者が集い、質の高い研究発表と熱心な討議が行われた。そこでは、数多くの成果とともに、これからの課題も明らかになった。そこで、課題となった、学校経営ビジョンの明確化と共有、家庭や地域との連携と開かれた教育課程の実現、子どもの姿で評価・分析するPDCAサイクルの確立を目指して、研究に取り組んだ。

2 研究の概要

- (1) 社会に開かれた教育課程のイメージや道德教育の目標等の明確化を図り、学校・家庭・地域で共有する。
- (2) 校長のリーダーシップの下、教職員が協働するとともに、家庭や地域とも連携・協働しながら道德教育を推進する。
- (3) 児童の姿で道德教育のカリキュラム・マネジメントの成果と課題を分析し、効果的なPDCAサイクルを確立する。

以上のような内容で、社会に開かれた教育課程の実現に向けて、学校・家庭・地域が連携・協働したカリキュラム・マネジメントの在り方や校長の役割等について発表する。

<メモ>

【発表内容に関すること】

【自己の実践等に関すること】

○有効な取組

○疑問・改善

◇「校長の役割と指導性」について、協議内容を簡潔にまとめると…【キーワードかキーセンテンスで】

☆参考キーワード

PDCAサイクルの確立 イメージ図 学校運営協議会 教員研修と授業改善
「道德の日」の取組

【視点②】 よりよい社会を創る人権教育の推進

**『共生の心』を育む教育の推進と校長の在り方
～人権教育に関する実態調査の分析と考察を通して～**

宮城県 気仙沼市立月立小学校 校長 村上 克弥

1 趣 旨

持続可能な未来社会を創る子どもたちには、安全安心が保障される社会の中で、互いを認め合い、共に生きることの喜びを実感できる豊かな人間性を育むことが求められている。特に被災地である当地域においては、震災の体験を適切に生かし、命の大切さ、思いやりと感謝の心、人と地域との絆の重要性、個人と社会との関係性に気付かせながら、互いによりよく生きようとする「共生の心」を育むことが大切である。

2 研究の概要

- (1) 「共生の心」を育む人権教育に関する実態調査の分析・考察
- (2) 3つの視点に立った各校の取組状況と特色ある実践事例
- (3) 校長が果たすべき役割の提言

以上のような内容で、人権教育を「共生の心」を育むための教育という視点からとらえ直し、校長として、学校・地域の実情に応じた様々な教育活動を通じて、人権感覚を豊かにし、差別や偏見、いじめ等のない社会づくりに貢献し、未来を切り拓いて社会を生き抜くために必要な「共生の心」を育む教育をどう推進していけばよいかについて実態調査の分析と考察を踏まえて発表する。

<メモ>

【発表内容に関すること】

【自己の実践等に関すること】

○有効な取組

○疑問・改善

◇「校長の役割と指導性」について、協議内容を簡潔にまとめると…【キーワードかキーセンテンスで】

☆参考キーワード

豊かな人権感覚 意識調査 教育課程の編成・改善 受容的・共感的な学級経営
家庭・地域・関係機関との連携・協働

過去6大会の成果と前年度の課題

領域Ⅱ 教育課程 第5分科会 豊かな人間性

25 三重 大会	<p>研究課題 豊かな人間性を育む教育課程 視点1 新たな社会を生き抜く人権感覚の育成 視点2 豊かな心を育成する教育課程の編成・実施・評価・改善 <input type="checkbox"/>子どもたちの豊かな人間性を育むことは学校だけでなく、家庭や地域社会を通じて生まれること、その「つながり・協働・連携」「人権教育・道徳教育」の要になるのが校長の指導性である。 <input type="checkbox"/>学校経営の基盤に人権教育や道徳教育を置き、子どもや保護者、地域の人々の願いを教職員が共有していくことが重要である。</p>				
26 埼玉 大会	<p>研究課題 豊かな人間性を育む教育課程の編成・実施・評価・改善 視点1 豊かな心を育む道徳教育の推進 視点2 心結ぶ未来社会をつくる人権教育の推進 <input type="checkbox"/>校長のリーダーシップの重要性、マネジメントの区分や項目の分類の見直しと評価改善の重要性、見える化による職員の意識の共有化と意思統一の重要性を究明することができた。 <input type="checkbox"/>保護者や地域の方々と共に道徳教育や人権教育を推進していくためには、取組のねらいや方法、活動の様子などを広報していくことが大切である。</p>				
27 山口 大会	<p>研究課題 豊かな人間性を育むカリキュラム・マネジメント 視点1 新たな社会を見据えた人権教育の推進 視点2 豊かな心を育てる道徳教育の推進 <input type="checkbox"/>実態調査を行い、結果を分析することで課題が共有され、校長の示す明確なビジョンの下、各校の学校規模や特性に応じた取組ができた。 <input type="checkbox"/>豊かな心を育む上で、人権教育や道徳教育の充実を図ることが、授業改善のポイントとなることが分かった。</p>				
28 高知 大会	<p>研究課題 豊かな人間性の育成を図るカリキュラム・マネジメント 視点1 豊かな心を育む教育課程の編成・実施・評価・改善 視点2 人権感覚を高め、未来を切り拓く人権教育の推進 <input type="checkbox"/>体験活動を行う上で、事前学習、体験後の振り返りの時間を組み入れることにより、体験活動に道徳的価値を見出すことができ、深まりを図ることができる。そのために全教職員で計画の見直しをすることが大切であることが確認された。 <input type="checkbox"/>ふるさとを愛し、誇りに思う心が確実に高まり、自尊感情も高まっている。また、育成プロジェクトにより自他の尊厳を重んじる態度が育ち、人権感覚が高まってきていることが確認された。</p>				
29 佐賀 大会	<p>研究課題 豊かな人間性を育むカリキュラム・マネジメント 視点1 豊かな心を育む道徳教育の推進 視点2 よりよい社会を創る人権教育の推進 <input type="checkbox"/>横断的で組織的な配列をし、体験的な活動を通して豊かな心、人権感覚を育てることができた。 <input type="checkbox"/>校長として明確なビジョンを示したり、職員のアイデアを出し合わせたりすることで、職員の参画意識や実践意欲を高めることができた。</p>				
30 北海道 大会	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">成 果</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">課 題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>研究課題 豊かな人間性を育むカリキュラム・マネジメントと校長の在り方 視点1 よりよい社会を創る人権教育の推進 視点2 豊かな心を育む道徳教育の推進</p> <p><input type="checkbox"/>教育の本質に迫る分析を基に、ゴールまでの「見える化」に取り組むことが学校内外の共通理解につながる。 <input type="checkbox"/>地域等との連携の下で取組を推進することや幼小中の子ども像の共有化が重要である。</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>■教職員、家庭、地域の意識や取組のベクトルを揃えていく必要がある。 ■教育課程に沿った実践の進捗状況を、複数回PDCAの改善サイクルで評価・分析することが重要になる。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	成 果	課 題	<p>研究課題 豊かな人間性を育むカリキュラム・マネジメントと校長の在り方 視点1 よりよい社会を創る人権教育の推進 視点2 豊かな心を育む道徳教育の推進</p> <p><input type="checkbox"/>教育の本質に迫る分析を基に、ゴールまでの「見える化」に取り組むことが学校内外の共通理解につながる。 <input type="checkbox"/>地域等との連携の下で取組を推進することや幼小中の子ども像の共有化が重要である。</p>	<p>■教職員、家庭、地域の意識や取組のベクトルを揃えていく必要がある。 ■教育課程に沿った実践の進捗状況を、複数回PDCAの改善サイクルで評価・分析することが重要になる。</p>
成 果	課 題				
<p>研究課題 豊かな人間性を育むカリキュラム・マネジメントと校長の在り方 視点1 よりよい社会を創る人権教育の推進 視点2 豊かな心を育む道徳教育の推進</p> <p><input type="checkbox"/>教育の本質に迫る分析を基に、ゴールまでの「見える化」に取り組むことが学校内外の共通理解につながる。 <input type="checkbox"/>地域等との連携の下で取組を推進することや幼小中の子ども像の共有化が重要である。</p>	<p>■教職員、家庭、地域の意識や取組のベクトルを揃えていく必要がある。 ■教育課程に沿った実践の進捗状況を、複数回PDCAの改善サイクルで評価・分析することが重要になる。</p>				

(各大会の集録より一部引用)